

地域を支えるシルバーパワー 安心安全見守り隊



町民の4人に1人が65歳以上の高齢者です。

高齢者のみなさんは、長かった仕事勤めや子育てを終え、やっと「自分の時間」を自分の思い通りに過ごせるようになったのではないのでしょうか。忙しかった日々にはできなかったことを取りもどすように、毎日を自分の趣味の時間に費やす人、なにもせず ゆっくりとした時間を過ごす人も多いのではないのでしょうか。

しかし、振り返ってみると、忙しい日々を過ごしてきたことで、地域社会に無関心になっていた人も多いいのではないのでしょうか。なかには、ご近所さんのことにも無関心だった人もいるのではないのでしょうか。

新聞やテレビのニュースでは毎日のように、孤立した高齢者の孤独死や、子どもが被害者となる事件が取り上げられています。都市化が進むと、近隣住民への関心が薄くなりがちです。

まだまだ長い人生。自分から積極的に地域に出て「自分の時間」の一部を過ごしてみてはいかがでしょうか。身近な活動の場としては自治会があります。子ども会から老人会まで、地区の住民を支えるための活動があります。活動の中で自分の住んでいる地区

のを知ることができます。

また、現代のような少子高齢化社会では、みなさんの積極的な社会参加や自治会への参加が、地域を支える力として期待されています。

今回は、地域のコミュニティを支えるために高齢者が中心になって様々なことに取り組んでいる、小峯地区の老人会「白梅友の会」による地域見守り活動について紹介します。

小峯地区は益城町の西北部に位置し、熊本市に隣接した住宅地です。かつては30世帯ほどしかなかった集落が、高度経済成長期を境に新興住宅が建ち並び、単身者や子育て中の世代から高齢者まで約630世帯1,560人が生活しています。

小峯地区

